

平成23年度 第1回CCC政治学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成23年4月26日(火) 午前10:00～午後12:00

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者 : 萩原委員、川島委員、吉岡アドバイザー

(事務局)井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 議事概要

1. 学士力実現に必要なICT活用の授業モデル案について検討した。

到達目標ごとに各委員が分担して事前準備の授業モデル案について説明した。

(1) 到達目標1、2について

到達目標1と2は、主に1・2年次を対象に政治学の導入・入門と有権者として政治を判断・評価することに必要な教養、政治学の専門課程に向けた各領域の入門・概論を習得することを目的としている。

到達目標1の政治学の基本概念では、政治的な事象がどのような領域であれ、いかなる文化圏にも共通し、時代を超えて認めることができる政治に固有な概念を理解させ、その概念を用いて、政治現象を自分の言葉で説明できるようにすることであり、学生の理解の深度に重点を置く。到達目標2では、基本概念に基づいて政治文化・歴史・制度等の相違により異なる政治的な事象について学ぶ。すなわち、個々の事象の個別性を理解するのに必要な知識を習得すると共に、事実関係を的確に理解することで多様性や相関関係を把握する力を身に付ける。その実践力のために資料に関するリテラシー(分析・評価)を学ぶ。

この力を付けさせるための学習意欲を高め、学びを定着させる試みとして、多様な学びに対応し、授業時間外にも思いついた点や質問が双方向で可能になる、ツイッターを授業に取り入れた事例や、フェイスブックをグループ学習に取り入れることの提案があった。

(2) 到達目標3、4について

到達目標3、4は、入門的・基礎的知識や概念の習得を終えた学部の3年および4年生向けに開講される講義科目と位置づけられ、3では、政治的現実そのものを対象とし、それについての実証的知識の習得が主であるのに対して、4では規範的側面を有し、理念や目的をまず正しく理解し、ついでその理念・目的を実現するために設計された手段としての理論や仕組みを理解・評価する能力を習得する点にある。

この力を付けさせるための授業改善に向け、教員はコーディネーターに徹する中でSkypeを用いてレポートを全員で評価し吟味しあう学びの仕組み。プロジェクト学習、学びのコンテストなどの提案があった。

(3) 到達目標5について

到達目標4までをある程度達成している学生を念頭において、問題意識を喚起するための演習形式の授業や、多人数の講義であっても、TAやサブゼミなどの並行的、補助的なシステムを作ることによって多様な問題群を一定の政治学的テーマにグループ分けし、グループでの学びを授業時間内や授業時間外に行い、活動に関しては、ML、掲示板などICTを用いるなどの提案があった。

2. 今後のまとめ方について

- ① 授業のねらい : なぜこの授業モデルを提案するのか、背景を入れる。
- ② 授業計画 : 4年間の学びの中で能力を身に付けさせる計画、授業モデル、振り返り学習、グループ学習、コーチング等入れる。
- ③ 学習方法・内容 : 学習方法・内容をモデルとして紹介、ICTの活用が全てではなく、一例として紹介する。
- ④ 問題・課題 : ICTに限定せず、大学ガバナンスに向けて整理する。
イメージはA4で各モデル3枚以内、8月までに中間まとめを行い、9月から授業評価、教員の指導能力の検討を行う。

V. 次回の開催日程

日時：平成24年6月以降に次回委員会を行う。(メーカーリングリストにて調整)

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室